

表紙貼り品の糊残りによる目地汚れ等を防止する為の注意点(外装タイル・モザイクタイル)

表紙貼りタイプの外装タイルやモザイクタイルは、紙貼りに使用している糊をタイル表面に残したままにしておくと、その後目地を詰めたり酸洗いを行っても、目地汚れや糊残りによる汚れの付着等、問題が生じる場合があります。

このような事態を未然に防止するために、右記要領での糊の除去及び目地洗いを行っていただくことをお願いいたします。

糊の除去

特に、意匠性の高い表面に凹凸のあるタイルは、紙貼りの接着強度を上げるために糊の量が多い場合があります。また、フラット面のタイルにおきましても、必ず糊は残るため下記の要領に従って糊の除去を行ってください。

▶タイル施工後、紙をはがす際は紙に十分な水分を含ませてください。噴霧器を使用する場合は、水を含ませたのち、紙をはがす直前に再度噴霧することをお勧めいたします。水を含ませたあとは3分ほど放置してから紙はがしを行ってください。その際、決してタイル表面に紙と糊が残るような状態での紙はがしは行わないでください。

▶目地詰め前にタイル表面の糊を洗い落としてください。その際、水を十分に糊に含ませて柔らかくなったことを確認し、「たわし」「メラミンスポンジ」などを使用し、タイル表面のぬめりがなくなるまで洗い落としてください。